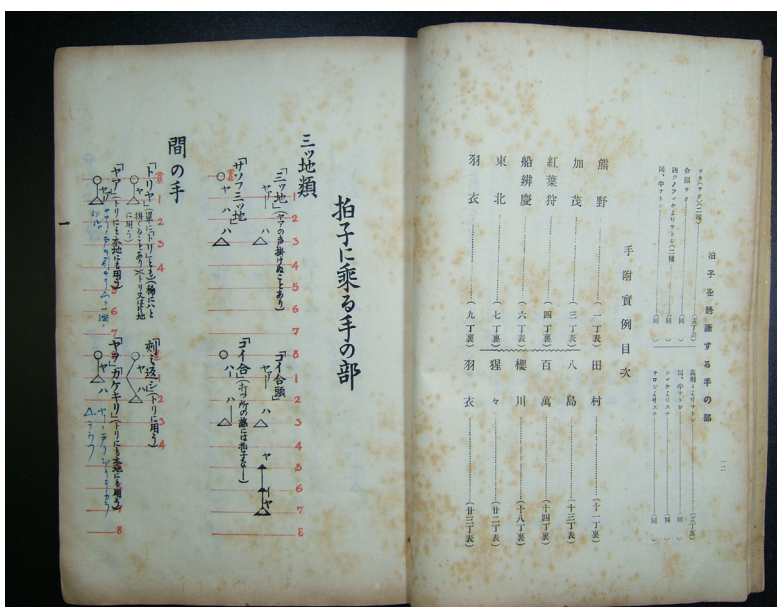
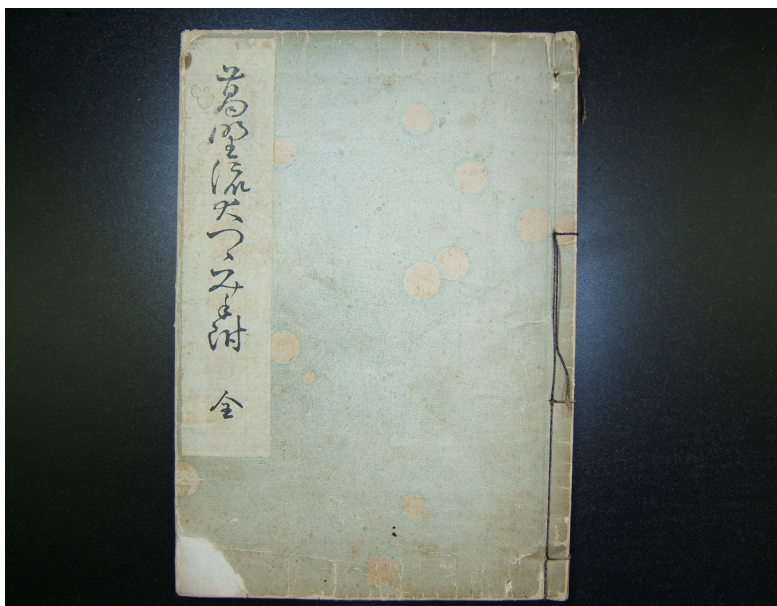


川崎利吉 『葛野流大つゝみ手附 全』

謡曲地拍子に関する研究書がいろいろ出ているのに対し、大鼓の手組を知るための書物がない。これが出版の動機になったということが序文で示されている。本書はしたがって、鼓の学習のための本であつてこの目録にあげるべき本ではないかもしれない。しかし、著者は、大鼓の川崎利吉であり、謡の拍子の研究に力をそそいだ人物である。手組は、八拍子のフォーマツトを赤い線で示されている(写真下)。実際の謡の部分では、八拍子の枠を使わず、手組を謡の句の横に添えて記す、伝統的なスタイルをとっている。



標題 内題…

標題紙…葛野流 大つゝみの手附

奥附…

その他…葛野流大つゝみ手附 全 (題簽)

著者 奥附…川崎利吉

その他の場所…川崎利吉 (標題紙)

出版 版次…再版

出版地…東京

出版社…わんや江島謡曲書店

出版年…大正4 (1915)

その他の場所…序 大正4 (1915)

形態 冊数…一冊 頁数…一三丁十二四丁

寸法…23×16 (cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考 後半二四丁は、一二曲の実例譜。